2017/10/04

浜益区における取り組みについての石狩市社会教育委員の会議の提案（私案）

石狩市社会教育の会議委員長 木村 純

この文書（一部修正）をもとに、9月29日に浜益区で話し合いを行い、基本的に合意しました。

1. 2017年度（10月以降）の浜益区での社会教育委員の会議の活動の計画

- (1) 浜益区における社会教育の課題について検討するための基礎資料、i 地域の基本的な統計数値の整理（人口、年齢構成、世帯類型、職業、農家数、漁家数、事業所数、集落毎の戸数や世帯類型・高齢化の状況、学校の生徒数、教職員数など）、ii 行政による調査結果・計画など、iii 公共施設とその利用状況、iv 交流人口。
- (2) 地域のキー・パーソンへのヒアリング 10～15人
 - ・農業（農協、農家）、漁業（漁協、漁家）、行政職員、高齢者、地域おこし協力隊、地域協議会、教員、父母）
 - ・ヒアリング調査は、基本的には、木村純が行うが、社会教育委員や教育委員会職員が同行する場合もある（これは支所に調査計画があればその実施に積極的に協力することでもよい）。
- (3) 統計や行政資料の分析とヒアリング結果に基づき、「浜益区の地域づくりと社会教育の課題」（仮称）についての公開の報告会を、浜益区と石狩市公民館2カ所で行う。
- (4) (3)での報告結果にもとづき、今後の浜益区での社会教育事業の課題とその実施について協議を行う（浜益区住民、社会教育委員、教育委員会職員等）。

2. 浜益区でのヒアリング調査の項目

- ① 家族のこと（他出の子どもとの交流の状況を含む）
- ② 仕事のこと（現在、将来）
- ③ 老後のこと（高齢者であれば年金のこと）
- ④ 浜益での現在の暮らしについて
 - ・買物（食料品・医療・家具） ・教育（高校） ・医療（風邪、持病、その他）
 - ・交通手段（車の所有状況、運転能力、公共交通手段の利用状況）
 - ・通信（固定電話、携帯・スマホ、PCネット、よく連絡しあう人とその頻度）
 - ・社会活動（集落外を含む、メンバーと居住先）
 - ・厚田や石狩との往来の頻度、交通手段
- ⑤ 石狩市との合併の影響・評価（暮らしで変わったこと）
- ⑥ 浜益での暮らしで不安を感じていること（現在、将来）
- ⑦ 浜益の魅力・浜益の宝は何か（案内したいところ、ごちそうしたいもの）
- ⑧ 地域の課題（現在、将来 災害の不安なども含む）
- ⑨ 学習課題（あなた自身、地域としての学習課題）
- ⑩ 社会教育事業への参加状況、どんな社会教育事業を期待するか